

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2024 年 6 月 7 日作成 第 1.0 版

研究課題名	Femoroacetabular impingement 患者を対象とした骨盤姿勢による仙腸関節ストレスへの影響：有限要素法を用いた力学的解析
研究の対象	2021 年 1 月から 2024 年 3 月の間に、横浜市立大学附属市民総合医療センター整形外科において、大腿骨寛骨臼インピンジメントと診断され股関節 CT 検査を受けた患者さんのうち、診断当時の年齢が 16 歳以上の方を対象とします。
研究の目的	大腿骨寛骨臼インピンジメントの患者さんは仙腸関節痛を併発することが多く、仙腸関節痛を有する患者さんは股関節痛に対する手術療法や保存療法の治療成績が悪いとされています。保存療法として骨盤の過度な前方への傾斜を改善することによって、股関節痛および仙腸関節痛が軽減することは臨床的に経験することであり過去の報告もありますが、力学的なメカニズムはわかっていません。骨盤傾斜を変化させることで仙腸関節への力学的な負担がどのように変化するのかを検証し、今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	また、CT 検査の際に撮影された股関節画像を用いて 3 次元骨モデルを作成し関節応力や張力を解析し、骨盤の傾斜角度と関節にかかる負荷の関係について検討します。 通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2024 年 7 月 3 日（研究機関の長の許可日）～西暦 2026 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2024 年 7 月 3 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報 の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 1) 背景情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症 2) 画像検査：術前/術後 X 線検査、CT
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管 理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の 管理について 責任を有する 者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科 小林 直実

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の間接的な関係を含むものです。 本研究は、研究責任者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。本研究における開示すべき利益相反はありません。
研究組織 （利用する者の 範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科（研究責任者）小林 直実
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科（研究責任者）小林 直実 （問い合わせ担当者）加茂野 絵美</p> <p>電話番号：045 - 261 - 5656（代表） FAX：045 - 252 - 7470</p>	